



【河野防衛大臣 自衛隊札幌病院視察】

令和元年9月26日

自衛隊札幌病院（病院長：大鹿陸将）は、9月26日（木）、河野防衛大臣の視察を受けた。病院長が陸上自衛隊衛生の概要、自衛隊札幌病院の概要及び北海道胆振東部地震での病院対応などについて状況報告を実施し、北部方面隊で唯一の自衛隊病院である札幌病院の任務、役割、現状等について説明したところ、大臣は、医官の診療技術の向上や医療体制（態勢）の整備について関心を示された。

施設巡視においては、感染症病棟、CT、アンギオ等の医療機器及び救急室等を視察いただくとともに、外来待合ではベンチベッド及びガスアウトレットの展開要領を展示し、有事及び大規模災害時における大量傷者への対応態勢及び感染症対策について確認いただいた。

さらに、東日本大震災の教訓が反映された建物の免震構造や免震装置についてご確認いただき、「災害に強い病院」として認識いただいた。



病棟の説明をする看護部長



病院長の報告を受ける防衛大臣



病院長による状況報告



防衛大臣との記念撮影



アンギオ検査室で血管造影装置の説明



救急室の説明



ベンチベットの展示説明をする看護部長